

対人援助者の三つの力

1. 対人援助の基本と対人援助者

- ★当事者が自分の現実から、「夢」(自己実現)に向けて生きていく
全プロセスへの有機的な関わり
- ★対人援助者は当事者がいきいき自分らしく成長していくことを側面から支援する人
- ★当事者もつ力を信じる。援助者として自分もつ力を信じ、限界も知る
- ★当事者と援助者の「相互作用」から「エンパワー」が実現する



2. 対人援助者に必要な三つの力

- ①人間力……人間に興味をもち、関わり、理解していこうとする力
- ②社会力……社会が人間に与えている影響を理解し、
人間が社会を変えて行くこともする(社会変革)
- ③対話力(はなすこと・きくこと)
話すべきときに話す・聴くべきときに聴く/バランスよくできる

3. 人間力……「自分を知る」ことを通して他者を理解する<自己変革>

自分のことも知らないのに、他人を理解できるはずがない

- ①自己覚知……自分のことを意識化する
- ②自己開示……自分について心を開いて、率直に語る

4. 社会力……20世紀の社会におこったこと「経済至上主義・複合汚染理論」

モノがあふれて、対話や人間的関わりがなくなった

すべてを競争や勝ち負けでとらえる価値観の社会

お金が一番、評価や数字だけを気にする社会、みんなと同じを追求

⇒21世紀を「人権の世紀」として創造していくために必要なものさし

「いのち」に授けられた価値観⇒「スロー&シンプル」<社会変革>

5. 対話力

- ① はなす……「自己覚知」「自己開示」—自分について心を開いて率直に語る
- ② きく……自分の普段の「きく」を自己覚知する
「聞く」と「聴く」

幸せ・元気の素となる「自尊感情」とは？～援助者の三つの力～

金 香百合(きむ・かゆり)ホリスティック教育実践研究所所長
(ブログ：<http://maglog.jp/kimrin/>)

1. 講師自己紹介……仕事では？私生活では、地域と家族再生のeトコ代表
2. 私たちは「当事者」かつ「対人援助者」……ホリスティック(総合的)な視点をもとう
キーワード：つながり・かかわり・バランス・リズム・相互作用・関係性
必要な三つの力・①人間力・②社会力・③対話力(よいコミュニケーション)
積極的人権文化―「幸せに元気に生きる私とあなた(高齢者・子ども)」とめざす
3. 社会力のポイント―社会の激変！大震災！原発！世界経済！その影響？
★金香百合の経済至上主義・複合汚染理論・モノ金便利早さを求めてバラバラ！
「乱気流時代の世界」といわれる今 とりわけ「弱者の生きづらさ」が顕著に
4. 人間力―「自尊感情」の視点から人間(自分や他者「子ども」)を理解してみよう
●自尊感情が高いときの傾向は？そして低いときの傾向は？
強さもやさしさも大胆さも細やかさも総合的に、バランスよく自己実現的に生きる
「男らしさ・女らしさ」「年齢」「肩書き」に縛られず、「乱気流時代」を柔軟に賢く
5. 対話力(コミュニケーション)は習慣によって育まれる―話すこと、聴くこと
6. 自尊感情を高める(自分を好きになる)ために、できること
★金香百合の自尊感情栄養理論～体の栄養・心の栄養⇒バランスのとれた心身
自尊感情が高まるとエンパワー⇒バランスがとれて自分らしく輝く
「ケアする人のケア」……ケアする対人援助者(育児・介護・他)にもケアが必要
7. 地域みんなの自尊感情を高める
＜〇〇の幸せ元気のためのハッピースタディーズ＞を実施している
① 自分の状況(しんどさ、つらさ、ストレス)を知って、習慣を変えていく
●しんどさの背景にある人間関係の要因と経済的問題(貧困)
1) 人間関係(家族・地域・職場・友人)……とりわけ親子関係の難しさ
2) 社会状況(バラバラ・経済不況・就職難・不安定)
●必要なもの 支えてくれる人、安心な居場所、的確な情報、その他
●自力・他力・公力……自分をあたたかく分析する、自分の人生をイメージ
人に相談する習慣をもつ、自己決定する。
② エンパワーに向けて、自分のバランスを整えるためのポイント
1. からだの栄養 2. こころの栄養 3. 新しいことへのチャレンジ(場・人)
4. 相談する 5. 元気がない時は大きな自己決定をしない 6. プラス思考

(参考図書)★「金香百合のジェンダーワークショップ」(解放出版社/1,690円)

★「つながりの力」せせらぎ出版・840円)